

東北地方 1か月予報

(5月1日から5月30日までの天候見通し)

平成16年4月30日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

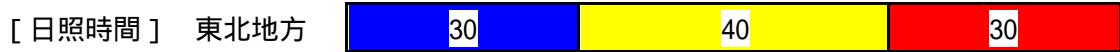
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変化するでしょう。東北地方は平年と同様に晴れる日が多い見込みです。おそれがあります。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 5月 1日(土) ~ 5月30日(日)

1週目 : 5月 1日(土) ~ 5月 7日(金)

2週目 : 5月 8日(土) ~ 5月14日(金)

3~4週目 : 5月15日(土) ~ 5月28日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は5月7日

3か月予報:5月25日(火) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	13.6	147.8	190.2	12.0	13.1	14.4
新庄	14.1	104.2	175.0	12.2	13.5	15.1
若松	15.4	78.4	192.1	13.7	14.8	16.3
深浦	12.9	103.1	190.9	11.3	12.4	13.7
青森	13.0	76.2	203.4	11.3	12.6	13.9
むつ	12.0	89.6	200.7	10.4	11.6	12.8
八戸	13.0	84.5	201.7	11.5	12.6	13.7
秋田	14.1	118.7	185.6	12.4	13.5	14.9
盛岡	13.7	101.1	189.4	11.9	13.2	14.6
宮古	13.0	98.3	185.5	11.6	12.7	13.6
酒田	14.8	113.3	192.8	13.1	14.2	15.6
山形	15.4	80.7	195.9	13.6	14.8	16.2
仙台	14.8	107.0	192.0	13.3	14.4	15.6
石巻	13.9	98.0	199.1	12.3	13.4	14.7
福島	16.5	86.6	191.1	14.9	16.0	17.3
白河	14.8	118.4	182.7	13.3	14.3	15.5
小名浜	15.1	145.2	193.5	13.8	14.6	15.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.5	84~114	97~104
東北日本海側	-0.4~+0.5	83~114	96~104
東北太平洋側	-0.3~+0.4	80~112	97~106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.9	-0.4~+0.7	-0.4~+0.6
東北日本海側	-0.7~+0.9	-0.4~+0.7	-0.5~+0.5
東北太平洋側	-0.6~+0.8	-0.4~+0.7	-0.4~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年4月30日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(5月1日~5月30日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。東北地方は、平年と同様に晴れる日が多い見込みです。おそれありの恐れがあります。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(5月1日~5月7日) :

期間の中頃は気圧の谷の影響で雨の降る日がありますが、その他の日は高気圧に覆われ晴れる日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(5月8日~5月14日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(5月15日~5月28日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

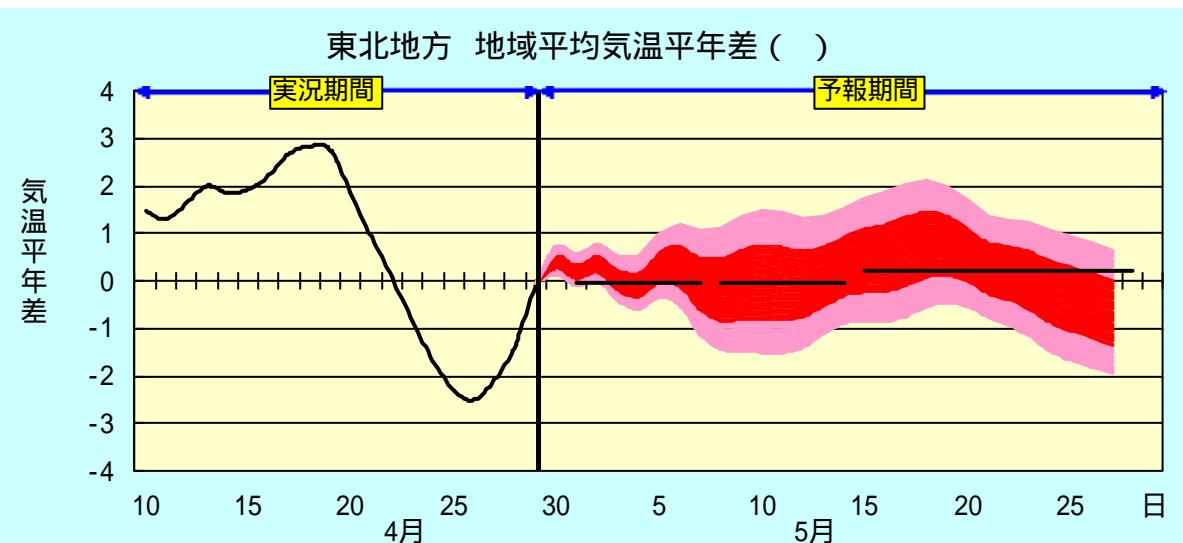
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.7日	3.7日	4.1日	7.9日
東北太平洋側	15.9日	3.8日	4.1日	8.0日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。

予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



* 実況期間(図の左側)の太い実線 東北地方地域平均気温平年差の実況値。(7日平均値)

* 予報期間(図の右側)には7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い赤の範囲)と信頼の程度が70%の幅(濃い赤と薄い赤の範囲)を表示

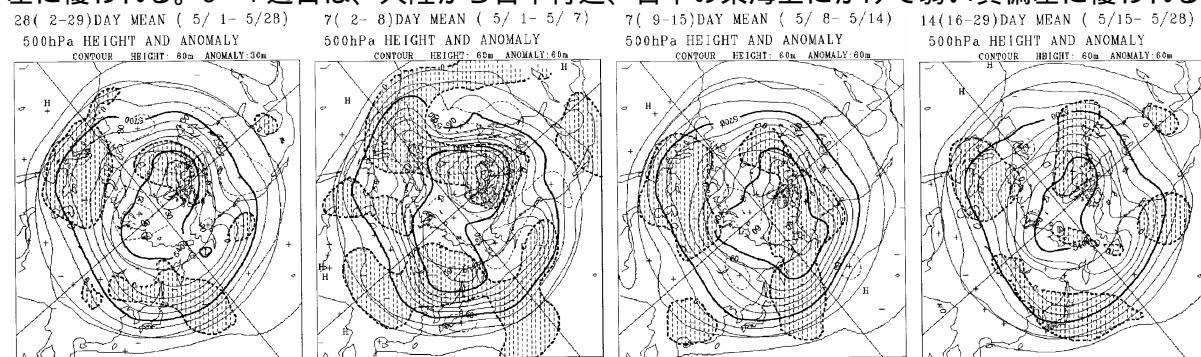
* 水平な3本の実線:予報期間の1週目、2週目、3~4週目についての多数の平均。

3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極東域は日本の北の北緯50°帯から日本の東海上にかけて負偏差となるが、日本付近は弱い正偏差に覆われる。アンサンブルメンバーのバラツキが大きいことから偏差は小さくなっている。

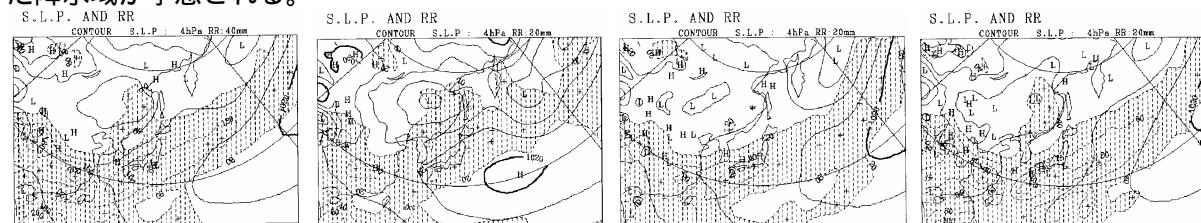
週別に見ると、1週目は、極東域の高緯度や日本の東海上は負偏差だが、日本付近は正偏差に覆われる。2週目は、日本の東海上は負偏差だが、日本付近はバイカル湖の東に中心を持つ正偏差に覆われる。3~4週目は、大陸から日本付近、日本の東海上にかけて弱い負偏差に覆われる。



地上気圧と降水量：

月平均では、沿海州に低圧部が予想されるが、日本付近は東から張り出す高気圧に覆われる。日本付近の等圧線の間隔は広く、天気は数日の周期で変わる見込み。日本の南岸を中心にまとまった降水域が予想される。

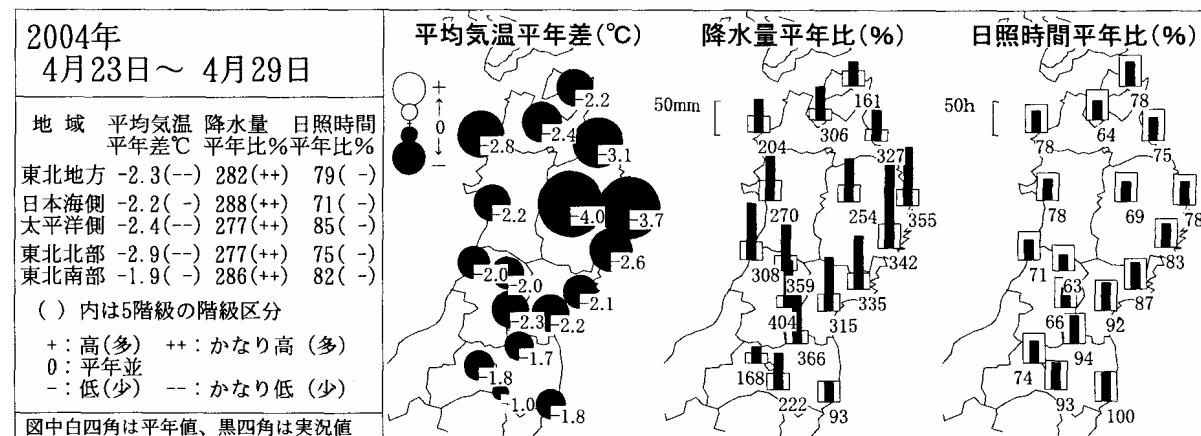
週別に見ると、1週目は、日本の南東海上の高気圧に覆われる予想。2週目、3~4週目は、日本付近の等圧線の間隔は広く、天気は数日の周期で変わる見込み。日本の南岸を中心にまとまった降水域が予想される。



4. 最近1週間（4月23日～4月29日）の天候の経過

この期間、26日と29日に移動性高気圧に覆われ晴れた他は、低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多くかった。23日に低気圧が通過した後、24~25日は強い寒気が南下して冬型の気圧配置となり、東北北部を中心に雪やみぞれが降って、八戸で1cm、盛岡で5cm、新庄で2cmの日最深積雪があった。また、27~28日は低気圧が発達しながら東北地方を通過したため雨となり、東北太平洋側では大雨となった所もあった。

平均気温は東北北部でかなり低く、東北南部で低い。降水量はかなり多い。日照時間は少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)